

受験する君へ



桜坂46 中嶋 優月さん

アイドル両立 片道1千キロ通学

北九州市立大を昨春卒業しました。桜坂46に加入した2023年からは飛行機で片道1千キロの遠距離通学。東京でのアイドル活動との両立は大変でしたが「頑張ることをあきらめない」という思いでやり遂げました。受験を控えた時期は、朝5時台の始発電車で学校に行っていたので勉強をしていました。友だちとギクシャクしたくなくて、模試の結果も教えない。聞かれても「満点だったかなー」でごまかしました。私なりのメンタルの保ち方だったのかな。

本を読むことが好きで、小説を英語版と読み比べた時の表現の違いに興味を持っていました。日本語教師になりたいくて、北九州市立大の比較文化学科を第1志望に。学費は自分のアルバイト代で払うと親と約束していたから、国公立大と決めていたのもあります。受験勉強でアドバースするつもりなら、自分が劣っていることじやなく、周りが優れていることに目を向けること。「みんな先生じゃん」と思って、教えて！と頼み込みました。

試験で力を発揮するにはコンディションが大事。私は会場に座布団を持ち込みました。特に体温調節。試験中もカーディガンを脱いだり着たり、鼻をかんだりして遠慮しないことです。大学2年の時、桜坂46が歌番組に出ていたのを見ました。その曲でセンターだった山崎天ささんは、オーディションの配信を見て可愛いと思っていた子（当時13歳）。もうこんなところまで来たんだと圧倒されて。

通費は親に借りて、今も返済中です。早朝便で通いましたが、1限にテストがあると前夜の最終便。ライブのアンコールを途中で抜け、泣きながら一人で飛行機に乗ってホテルに泊まった日もありました。卒業まで遠距離通学を公表しなかったのは、ファンに大学の方が大事なのかなと一瞬でも思わせたくないから。両立した経験は活動にもすごく生きています。私の経験を知ってもらうことで、受験生が頑張ろうって思ってくれたらうれしいです。（聞き手・波多野大介）

「頑張ること」あきらめないで

アイドルになりたいというよりは、桜坂46のステージに一緒に立ちたい。そんな思いでオーディションを受けました。加入してからは週2回ほど東京と北九州を日帰り往復。交

なかしま・ゆづき 2003年福岡県生まれ。北九州市立大在学中にアイドルグループ「桜坂46」加入（3期生）。テレビ朝日のバラエティ番組「サクラミーツ」にレギュラー出演中。文化放送「桜坂46の『NO!』」ではMCを担当している。